

第4回
クルーズ旅客に対する水上交通を活用した
下関港の魅力向上検討会

令和元年9月26日

下関市港湾局
九州地方整備局下関港湾事務所

昨年度の検討内容(おさらい)

【平成30年度】

昨年度に実施した検討会委員による運航コースの現地調査、留学生を対象としたプレ乗船調査及びクルーズ客等を対象としたアンケート調査において、長州出島から唐戸、門司港等の関門地域とを結ぶ水上交通に対し、一定程度の関心、ニーズが確認できた。



【運航における課題と対応策(案)】 第3回検討会資料より

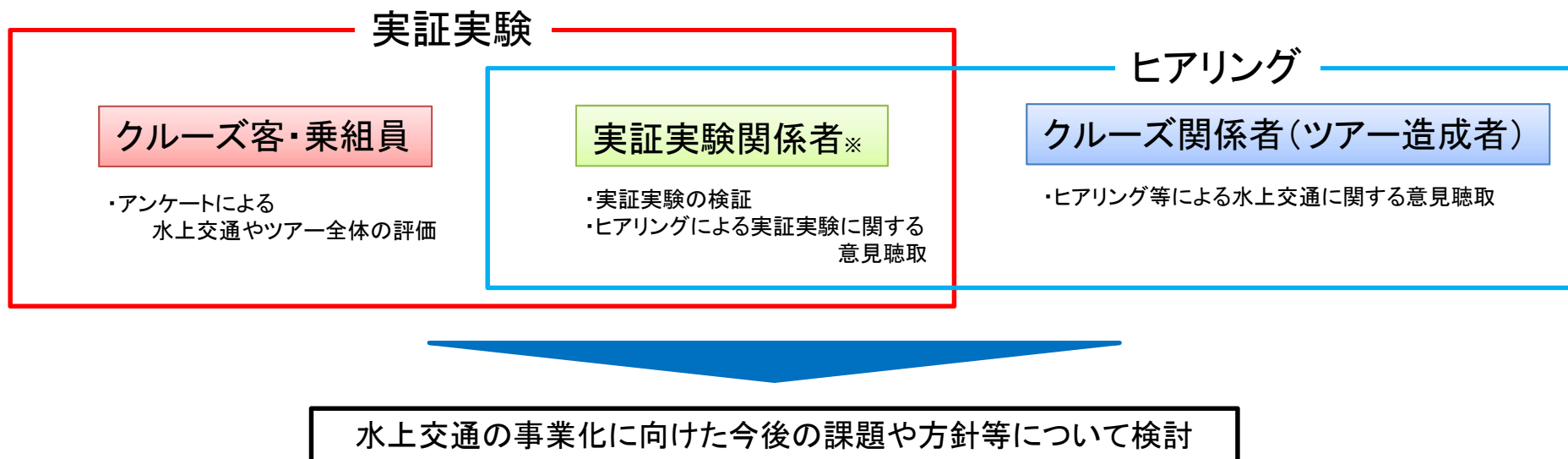
項目	課題	原因	対応(案)
【乗船時間】	- 乗船時間が長い(物理的) - 船酔いする	今回の調査に用いた船舶の運航速度が最大でも10ノット程度(平均7ノット)であったため運航時間が長かった。デッキはあったが、風景を眺めるには難しい構造であったため。	- 速力のある船舶を利用することで安定性を確保する。 - 速力ある船舶の利用し運航時間の短縮を図る。(関門海峡で運航している船舶であれば17ノット程度での運航が可能) - 見晴らしの良い船舶を利用する。
【観光】	①観光スポットの案内、説明の充実 ②関門での待ち時間 ③長州出島～彦島大橋、彦島～巖流島での乗船の楽しみ方	①船のエンジン音により説明が聞きづらい、観光スポットにおいて口頭による案内のみでわかりづらい ・船から観光スポットまでの距離が離れていて見えづらい ②関門の昇降に所要の時間がかかるため(10～15分)。 ③長州出島～彦島大橋、彦島～巖流島間は風景に頼る面が多く、観光要素が少ない。また、風景も一様に感じ飽きる方もいた。	①観光のアナウンス充実や写真撮影スポットとして紹介する。事前に観光スポットを示したパンフレット等を配布する。 ・岸に近い場所を運航する。 ②施設の説明を工夫する。写真撮影スポットとして紹介する。 ③市内観光案内の充実、運航ルート中での観光スポットの発掘。 - 速力のある船舶を利用する。
【アクセス】	各寄港地での移動ルート、交通手段の確保	(竹崎桟橋) 下関駅や唐戸(観光地)までの移動ルートがわかりづらい。	(竹崎桟橋) - バスやタクシーは下関駅で確保可能(下関駅へも徒歩5分程度)なため、下関駅までの徒歩移動ルート案内(看板or案内人) ・タクシーについては、市街地のため、すぐの対応が可能。

今年度の検討内容

本年度は、長州出島に寄港するクルーズ旅客のうち、水上交通を組み込んだツアーの参加者を対象に、実際に乗船し体験してもらう実証実験を実施し、水上交通に対する評価とツアー造成のために考慮すべき事項を整理する。

実証実験は、9月から10月にかけて下関港に寄港するクルーズ船を対象とし、船社のオフィシャルツアーを取り扱うランドオペレーターのご協力のもと、実施する。

その後、実証実験関係者やツアー造成等に携わるクルーズ関係者にヒアリングを行い、水上交通の事業化に向けた今後の課題や方針等について検討を行う。



※実証実験関係者：ランドオペレーター、ツアーガイド等

実証実験について①

【実証実験の実施内容】

①運航日時

下関港に寄港する以下のクルーズ船の寄港に併せて運航を実施する予定である。

	運航日	対象クルーズ船	入港時間	出港時間	クルーズコース
(1回目)	R1.09.29(日)	コスタ・セレーナ	8:00	15:00	天津⇒佐世保⇒ <u>下関</u> ⇒天津
(2回目)	R1.10.05(土)	コスタ・セレーナ	8:00	14:00	天津⇒博多⇒ <u>下関</u> ⇒天津
(3回目)	R1.10.25(金)	コスタ・ベネチア	8:00	18:00	上海⇒ <u>下関</u> ⇒博多⇒上海

②対象者

以下のとおりを想定している。

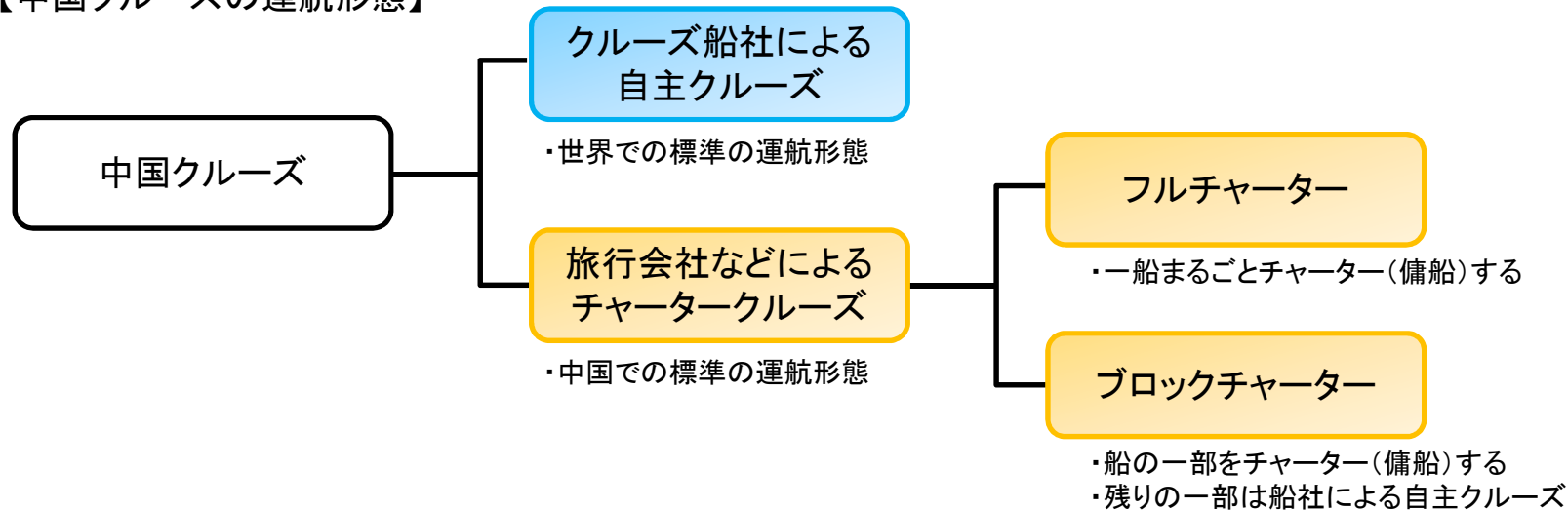
	運航日	対象クルーズ船	対象者	調整状況
(1回目)	R1.09.29(日)	コスタ・セレーナ	乗組員	ツアーの調整が見込めなかったため、乗組員を対象に実施
(2回目)	R1.10.05(土)	コスタ・セレーナ	オフィシャルツアー	オフィシャルツアーを対象に調整中
(3回目)	R1.10.25(金)	コスタ・ベネチア	オフィシャルツアー	オフィシャルツアーを対象に調整中

※対象者の方針(優先順位)

- ①クルーズ船社によるツアー客(自主ツアー)を対象に調整する。(次頁A)
- ②オフィシャルツアーが見込めない場合、チャーター(旅行会社等)によるツアーと調整する。(次頁C)
- ③ツアーが見込めない場合は、乗組員を対象に調整する。
- ④①～③が見込めない場合、FITを対象とする。(次頁BorD)

実証実験について② <参考> 中国発着クルーズビジネスの構図

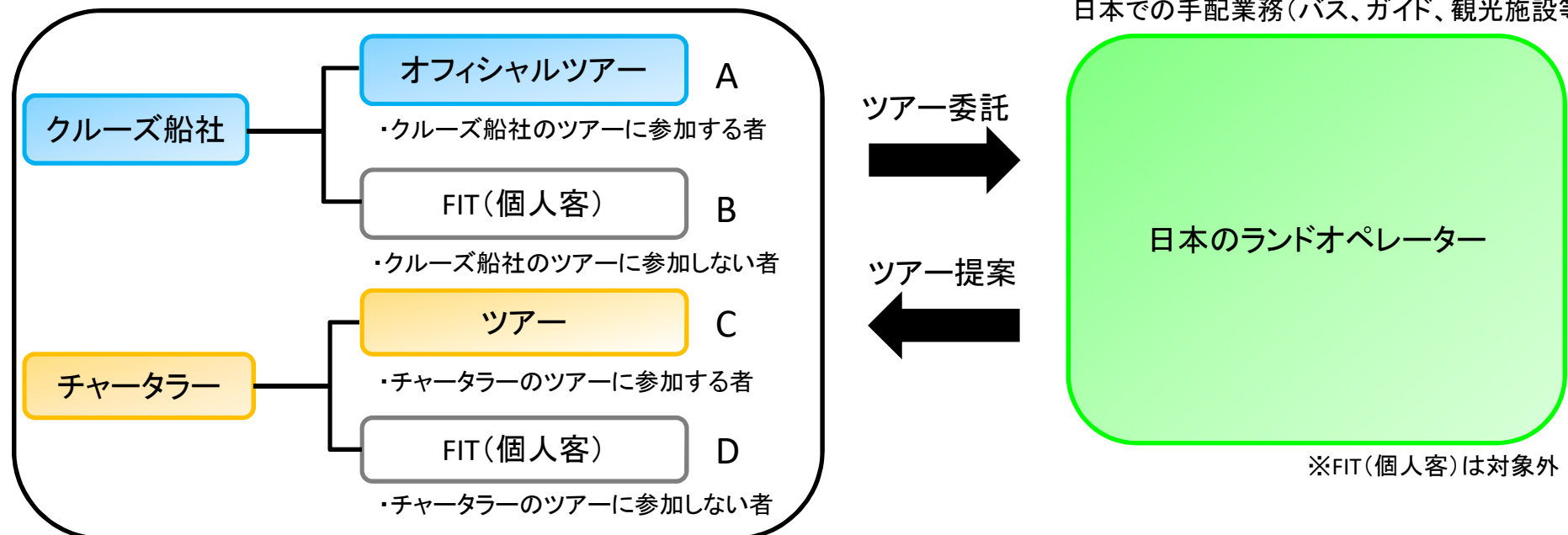
【中国クルーズの運航形態】



【中国クルーズの寄港地・寄港地観光(オプションルツアー)、集客など】

寄港地・寄港地観光の決定権、クルーズ客の集客

日本での寄港地観光の企画・推薦
日本での手配業務(バス、ガイド、観光施設等)



実証実験について③

③運航コースの設定の考え方について

- ・JR下関駅近くの竹崎棧橋については、六連島の定期運航および旧六連丸の保管用として浮棧橋が占用されているため、今回のコースから除外。
- ・通航時間に制限のある下関漁港閘門コースは、寄港時間の長い10月25日の実証実験コースに設定。一方、9月29日、10月5日は寄港時間が短いため、関門海峡を通航するルートに設定。
- ・ツアー行程にバスと船の両方を利用すると二重にコストを要することから、今後の持続可能性を勘案し、今回の実証実験における移動手段は船のみのツアーを設定。
- ・クルーズ旅客は出港時間の約1時間前には、客船に戻る必要があること、及び、下船した岸壁と水上交通を行う小型船乗り場までのバス等の移動時間を考慮したツアー行程を設定。
- ・乗組員については、クルーズ客よりも遅く下船することが多いため、長州出島出発時間を遅らせて設定。また、長州出島といずれかの寄港地の往復コースとする（詳細は船社との調整による）。
（例 長州出島⇄唐戸、長州出島⇄門司港、長州出島⇄小倉）

1回目:9/29(日)の運航		2回目:10/5(土)の運航		3回目:10/25(金)の運航	
長州出島	【10:00】発	長州出島	【9:00】	長州出島	【9:00】
↓(40分)		↓(30分)		↓(60分)	(竹崎経由)
唐戸	【10:50】着【12:10】発	小倉	(上陸)約1時間	唐戸	(上陸)約2時間
↓(40分)		↓(30分)		↓(5分)	
長州出島	【13:00】着	唐戸	(上陸)約1時間	門司	(上陸)約2時間
シャトル運航(2往復)		↓(40分)		↓(40分)	
		長州出島	【12:40】	小倉	(上陸)約1.5時間
				↓(40分)	
				長州出島	【16:30】

運航1回目(案)について

運航コース案【9月29日「コスタ・セレーナ(入港8:00-出港15:00)」】
長州出島(10:00発)⇒唐戸(10:50着-12:10発)⇒長州出島(13:00着)



運航2回目(案)について

運航コース案【10月5日「コスタ・セレーナ(入港8:00-出港14:00)」】

長州出島(9:00発)⇒小倉(9:30着-10:30発)⇒唐戸(11:00着-12:00発)⇒長州出島(12:40着)



運航3回目(案)について

運航コース案【10月25日「コスタ・ベネチア(入港8:00-出港18:00)」】

長州出島(9:00発)⇒唐戸(10:00着-12:00発)⇒門司港(12:05着-14:00発)⇒小倉(14:30着-16:00発)
⇒長州出島(16:30着)



実証実験について④

④船内での対応について

- ・運航コースと見所、陸上観光地を示した観光マップ(外国語版)をクルーズ客へ配布する。
- ・船内にガイドを配置し、外国語による説明を行う。
- ・船内のモニターに、観光地を紹介する映像を流す。(調整中)
- ・観光地へ上陸する際、各地の観光パンフレットを配布(外国語版)

(マップ例)



案内マップ(例)おもて面 2回目コース案

※外国語表記で配布



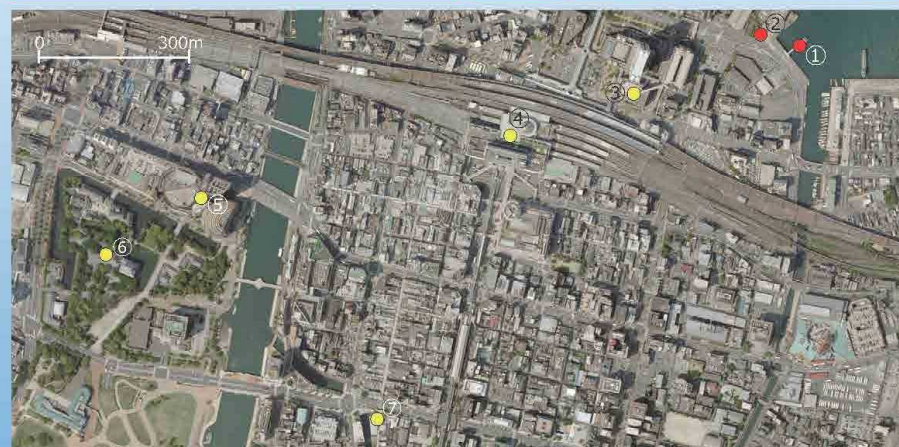
立寄り先(小倉・唐戸)における集合場所と時間



小倉

集合場所:①小倉乗り場
集合時間:10:25

①小倉乗り場



②小倉ターミナル



⑤リバーウォーク北九州



③あるあるCity



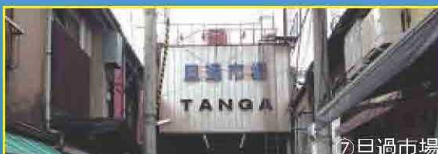
⑥小倉城



④小倉駅
(アミュプラザ小倉)



⑦旦過市場



唐戸

集合場所:①唐戸乗り場
集合時間:11:55

①唐戸乗り場



②唐戸ターミナル



⑤海響館



③唐戸市場



⑥はい!からっと横丁



④カモンワーフ



⑦海峡ゆめタワー



使用船舶について

関門汽船株式会社(北九州市門司区)が所有する以下のいずれかの船舶を使用する。

①がんりう

総トン数	全長	幅	最大速力
19トン	18.9m	4.36m	25ノット

航海速力	乗船定員	座席数
16ノット	120名	87席



②かんもん

総トン数	全長	幅	最大速力
19トン	19.3m	4.38m	25ノット

航海速力	乗船定員	座席数
16ノット	120名	88席



バスの運行について

下図に示すとおり、クルーズ船寄港岸壁と小型客船乗降場所間を、大型バスにて旅客の輸送を行う。



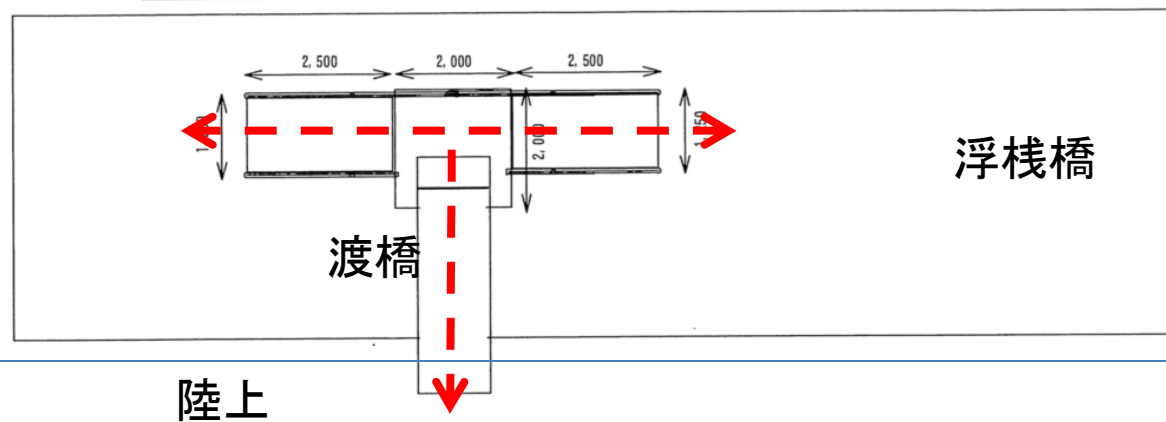
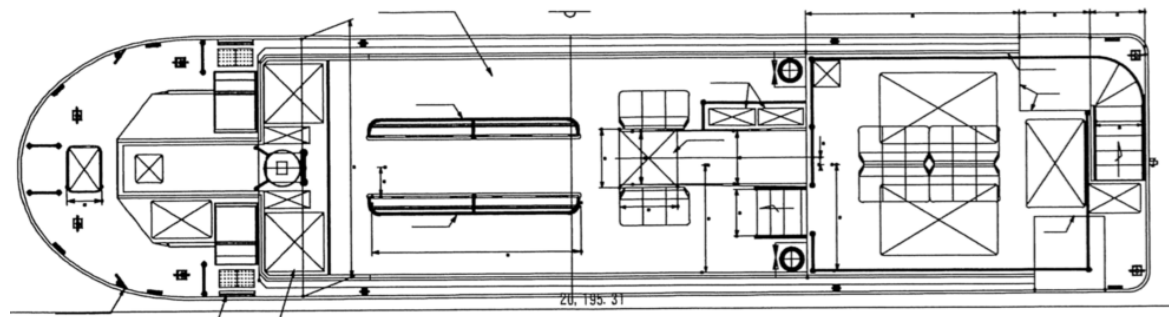
小型船舶乗降場所について



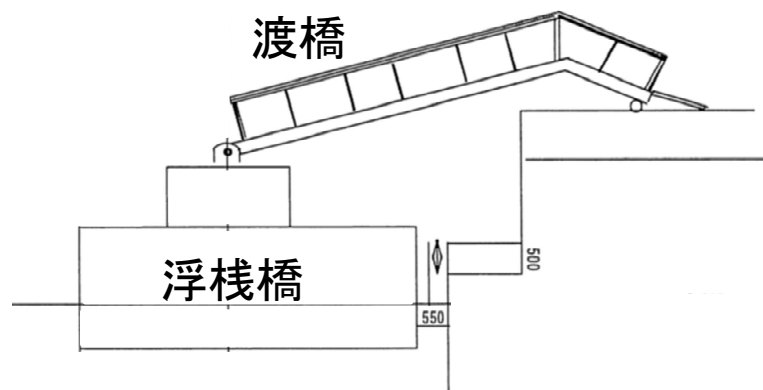
浮棧橋について

【平面図】

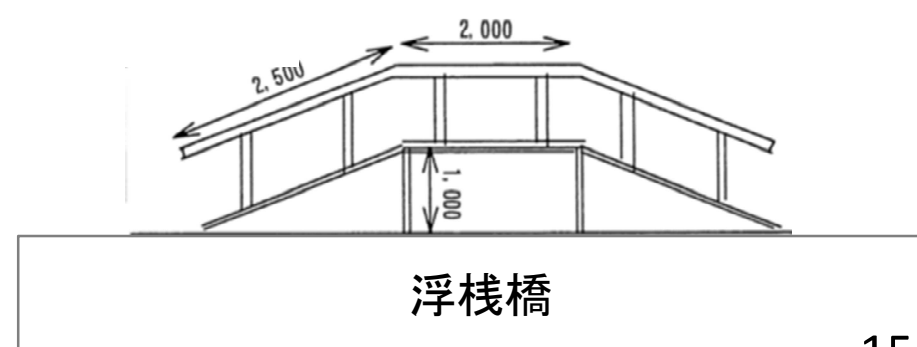
※滑り止めのマットも敷設する



【断面図】



【断面図】



第3回検討会 水上交通運航における課題と対応策(案)に対する実証実験内容

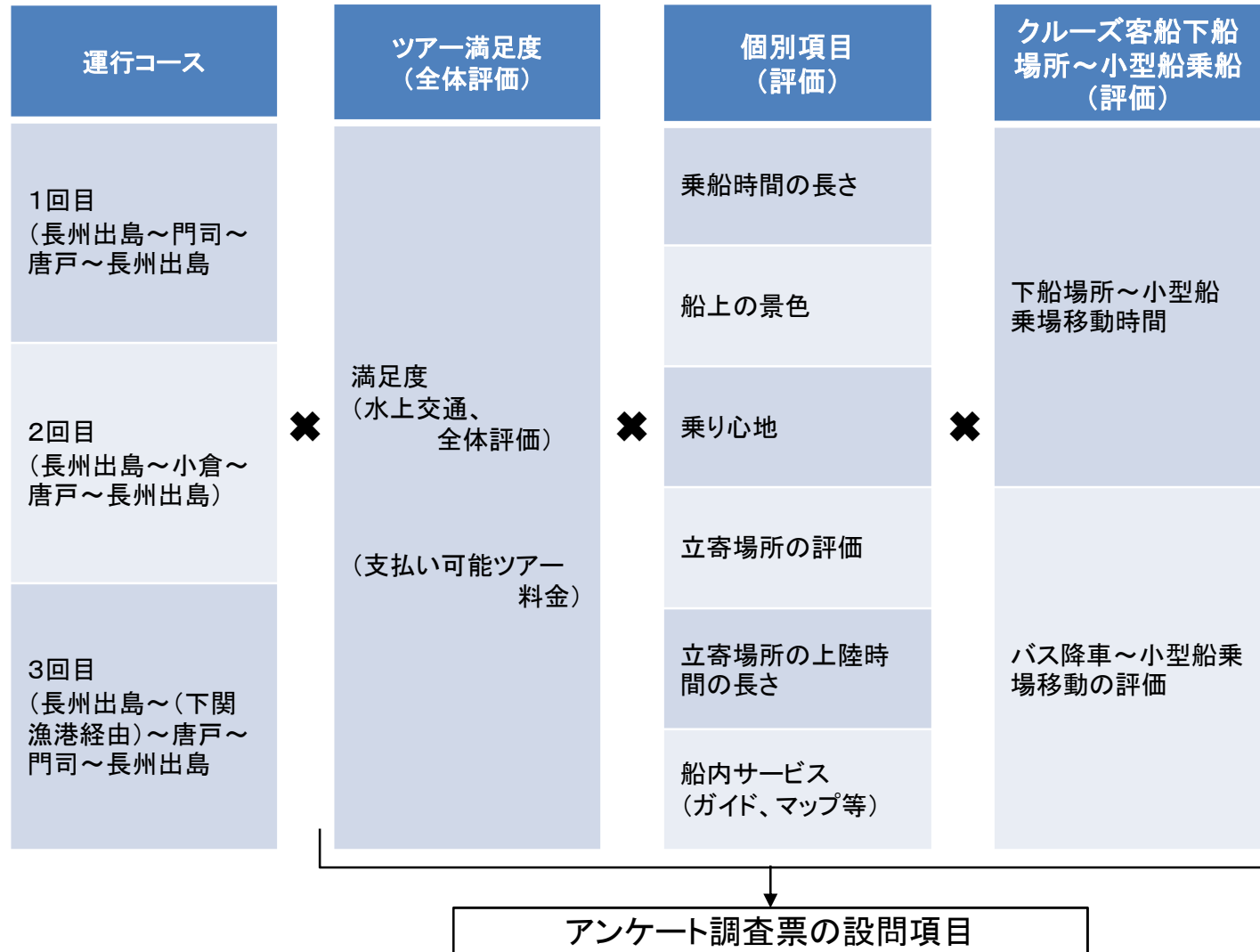
第3回検討会において整理された課題と対応策を踏まえ、今回の実証実験に反映させて実施する予定。

第3回検討会 課題と対応策				実証実験
項目	課題	原因	対応(案)	実施内容
【乗船時間】	- 乗船時間が長い(物理的) - 船酔いする	- 今回の調査に用いた船舶の運航速度が最大でも10ノット程度(平均7ノット)であったため運航時間が長かった。 - デッキはあったが、風景を眺めるには難しい構造であったため。	- 速力のある船舶を利用することで安定性を確保する。 - 速力ある船舶の利用し運航時間の短縮を図る。(関門海峡で運航している船舶であれば17ノット程度での運航が可能) - 見晴らしの良い船舶を利用する。	- 速力16ノット(最大速力25ノット)の船舶を利用し、運航時間の短縮するとともに安定性も確保する。 - 展望デッキのある船舶を利用する。
【観光】	①観光スポットの案内、説明の充実 ②関門での待ち時間 ③長州出島～彦島大橋、彦島～巖流島での乗船の楽しみ方	①船のエンジン音により説明が聞きづらい、観光スポットにおいて口頭による案内のみでわかりづらい 船から観光スポットまでの距離が離れていて見えづらい ②関門の昇降に所要の時間がかかるため(10～15分)。 ③長州出島～彦島大橋、彦島～巖流島間は風景に頼る面が多く、観光要素が少ない。また、風景も一様に感じ飽きる方もいた。	①観光のアナウンス充実や写真撮影スポットとして紹介する。事前に観光スポットを示したパンフレット等を配布する。 - 岸に近い場所を運航する。 ②施設の説明を工夫する。写真撮影スポットとして紹介する。 ③市内観光案内の充実、運航ルート中での観光スポットの発掘。 - 速力のある船舶を利用する。	①外国語によるアナウンスを実施する。観光スポットを示したパンフレットを配布する。 - 安全を確保した上で、岸に近い場所を運航する。 ②施設の説明について、工夫を行う。 ③彦島～巖流島において、観光動画を使用する。 - 速力ある船舶を利用する。
【アクセス】	各寄港地での移動ルート、交通手段の確保	(竹崎棧橋) - 下関駅や唐戸(観光地)までの移動 - ルートがわかりづらい。	(竹崎棧橋) - バスやタクシーは下関駅で確保可能(下関駅へも徒歩5分程度)なため、下関駅までの徒歩移動ルート案内(看板or案内人) - タクシーについては、市街地のため、すぐの対応が可能。	今回の運航コース対象外。

検証すべき内容について

【検証する内容】

今回の実証実験の運航コースは、立寄場所、ルート、上陸時間等が異なっていることから、それぞれの運航コースの特徴に応じて、満足度(全体的な評価)を指標に、「ツアー全体時間」「船上からの景色」「乗船時間」「上陸時間」「(ガイド、配布資料等)船内サービス」の各項目の満足度(評価)との関連性を把握する。



アンケート調査内容について

【調査票の設問内容について】

調査票の記入時間が短いこと等から、設問は、答えやすいように、選択肢に○を付ける「選択式」を基本とし、記述は極力少なくする。また、A4版片面1枚におさめる。

設問項目は、以下の通り。

- ①今回のツアー内容に関する項目の評価(満足度)
(乗船時間、船上からの眺め、乗り心地、船内ガイド、配布資料、各立寄り場所の滞在時間)
- ②クルーズ客船の下船場所から小型船の乗り継ぎまでの評価(満足度)
(下船場所から小型船乗り場までの移動時間、乗り場と小型船との乗下船、立寄り場所での下乗船)
- ③小型船乗り場周辺に必要な施設

【調査の実施方法について】

船上においてツアー参加者に配布し、記入してもらう方法とする。

アンケート調査票の配布、説明、回収については、以下の要領で実施する。(調整中)

(配布)

最後の立寄り場所から長州出島に向かう小型船への乗船時に配布する。

(回収)

ガイド(ランドオペレーター)を通じて調査票を回収する。

水上交通ツアーに関するアンケート調査票(案)※クルーズ客

1. 今回の乗船に参加した動機についてお聞かせください。(該当するものに、“○”を付ける)

- ① 行き先が、行きたいところだったから ② コースが面白そうだったから
 ③ 船に乗りたかったから ④ 船からの景色が楽しそうだったから
 ⑤ その他(具体的に _____)

2. ツアー全体の工程について、項目毎に評価してください(該当するものに、“○”を付ける)

(1)運航区間ごとに、船に乗っている時間、船からの眺めのそれぞれに評価して下さい。(別添運航区間参照)

運航区間① 乗船時間 ① とても短い ② 短い ③ ちょうどよい ④ 長い ⑤ とても長い
 (赤) 船からの眺め ① とても良い ② 良い ③ 普通 ④ 悪い ⑤ とても悪い

運航区間② 乗船時間 ① とても短い ② 短い ③ ちょうどよい ④ 長い ⑤ とても長い
 (緑) 船からの眺め ① とても良い ② 良い ③ 普通 ④ 悪い ⑤ とても悪い

運航区間③ 乗船時間 ① とても短い ② 短い ③ ちょうどよい ④ 長い ⑤ とても長い
 (青) 船からの眺め ① とても良い ② 良い ③ 普通 ④ 悪い ⑤ とても悪い

(2)全体を通して、船に乗っている時間はどうか。

- ① とても短い ② 短い ③ ちょうどよい ④ 長い ⑤ とても長い

(3)総合的にみて、船からの眺めはどうか。

- ① とても良い ② 良い ③ 普通 ④ 悪い ⑤ とても悪い

(4)船の乗り心地はどうか。

- ① とても良い ② 良い ③ 普通 ④ 悪い ⑤ とても悪い

(5)船上での説明はどうか。

- ① とても良い ② 良い ③ 普通 ④ 悪い ⑤ とても悪い

(6)お手元に配った資料はわかりやすかったですか。

- ① とても良い ② 良い ③ 普通 ④ 悪い ⑤ とても悪い

水上交通ツアーに関するアンケート調査票(案)※クルーズ客

(7)水上交通の満足度はどうでしたか。

① とても良い ② 良い ③ 普通 ④ 悪い ⑤ とても悪い

(8)上陸した立寄場所は楽しかったですか。

立寄場所(小倉) ① とても良い ② 良い ③ 普通 ④ 悪い ⑤ とても悪い

立寄場所(唐戸) ① とても良い ② 良い ③ 普通 ④ 悪い ⑤ とても悪い

(9)立寄場所での上陸時間はどうでしたか。

立寄場所(小倉) ① とても短い ② 短い ③ ちょうどよい ④ 長い ⑤ とても長い

立寄場所(唐戸) ① とても短い ② 短い ③ ちょうどよい ④ 長い ⑤ とても長い

(10)以上を踏まえ、ツアー全体の満足度はどうでしたか。

① とても良い ② 良い ③ 普通 ④ 悪い ⑤ とても悪い

(11)今回のツアー料金としてどの程度が妥当でしょうか。

\$40 \$50 \$60 \$70 \$80

3. クルーズ客船の下船場所から小型船乗り場までのことについてお聞きします。

(1)下船場所から小型船乗り場までの移動時間はどうでしたか。

① とても短い ② 短い ③ ちょうどよい ④ 長い ⑤ とても長い

(2)バス降車から小型船の乗船までの移動に問題等なかったですか。ありましたら内容をご記入下さい。

① 問題なし ② 問題あり→(具体的に)

4. 今回のツアーに参加した感想、あるいは要望などがありましたら、ご記入ください。

(例)船上体験ができた、眺めがよかった など

5. 最後に、ご記入いただいたあなた自身についてお教えてください

クルーズ旅行の回数 回 国籍() 性別 ① 男 ② 女

参加した人 ① 1人 ② 友人・知人 ③ 家族 ④ 仕事の同僚 ⑤ その他()

年齢 ① 10歳代 ② 20歳代 ③ 30歳代 ④ 40歳代 ⑤ 50歳代 ⑥ 60歳代～



水上交通ツアーに関するアンケート調査票(案)※クルー

1. 今回の乗船に参加した動機についてお聞かせください。(該当するものに、“○”を付ける)

- ① 行き先が、行きたいところだったから ② コースが面白そうだったから
 ③ 船に乗りたかったから ④ 船からの景色が楽しそうだったから
 ⑤ その他(具体的に _____)

2. ツアー全体の工程について、項目毎に評価してください(該当するものに、“○”を付ける)

(1)運航区間ごとに、船に乗っている時間、船からの眺めのそれぞれに評価して下さい。(別添運航区間参照)

運航区間① 乗船時間 ① とても短い ② 短い ③ ちょうどよい ④ 長い ⑤ とても長い
 (赤) 船からの眺め ① とても良い ② 良い ③ 普通 ④ 悪い ⑤ とても悪い

運航区間② 乗船時間 ① とても短い ② 短い ③ ちょうどよい ④ 長い ⑤ とても長い
 (青) 船からの眺め ① とても良い ② 良い ③ 普通 ④ 悪い ⑤ とても悪い

(2)全体を通して、船に乗っている時間はどうか。

- ① とても短い ② 短い ③ ちょうどよい ④ 長い ⑤ とても長い

(3)総合的にみて、船からの眺めはどうか。

- ① とても良い ② 良い ③ 普通 ④ 悪い ⑤ とても悪い

(4)船の乗り心地はどうか。

- ① とても良い ② 良い ③ 普通 ④ 悪い ⑤ とても悪い

(5)船上での説明はどうか。

- ① とても良い ② 良い ③ 普通 ④ 悪い ⑤ とても悪い

(6)お手元に配った資料はわかりやすかったですか。

- ① とても良い ② 良い ③ 普通 ④ 悪い ⑤ とても悪い

水上交通ツアーに関するアンケート調査票(案)※クルー

(7)水上交通の満足度はどうでしたか。

① とても良い ② 良い ③ 普通 ④ 悪い ⑤ とても悪い

(8)次回も水上交通に乗ってみたいと思いますか。該当するものに、“○”をつけて、その理由と、他の行き先があれば、お書きください。

① 乗船したい ② 乗船したくない ③ わからない

上記の回答の理由 ()

他にがあるとよい行き先 ()

3. クルーズ旅客の利用を促すためには、下記の工夫すべき事項で該当するものに“○”を付けて(複数可)、具体的な理由(工夫の方法等)をお教えてください。

① 乗船時間 ② 船からの眺め ③ 乗り心地 ④ 説明 ⑤ 配布資料 ⑥ その他

上記の回答の理由)

4. クルーズ客船の下船場所から小型船乗り場までのことについてお聞きます。

(1)下船場所から小型船乗り場までの移動時間はどうでしたか。

① とても短い ② 短い ③ ちょうどよい ④ 長い ⑤ とても長い

(2)バス降車から小型船乗り場までの移動に問題等はなかったですか。ありましたら内容をご記入下さい。

① 問題なし ② 問題あり→(具体的に)

5. 今回のツアーに参加した感想、あるいは要望などがありましたら、ご記入ください。

(例)船上体験ができた、眺めがよかった など

5. 最後に、ご記入いただいたあなた自身についてお教えてください

下関港への寄港回数 回 国籍 性別 ① 男 ② 女
年齢 ① 10歳代 ② 20歳代 ③ 30歳代 ④ 40歳代 ⑤ 50歳代 ⑥ 60歳代～



クルーズ関係者へのヒアリング内容(案)

【アンケート対象者】

①実証実験実施者

- ・実証実験の協力者(ランドオペレーター等)

②寄港地観光を取り扱うことが可能な会社 10者程度を予定

- ・ランドオペレーター
- ・外国クルーズ船社
- ・クルーズ船チャーター会社

【アンケート内容】

- ・対象者別に設定(次頁以降参照)。

なお、アンケートの内容については、検討会及び実証実験の結果を踏まえ再度精査を行う予定。

水上交通ツアーに関するアンケート調査票(案)※実証実験実施者

このアンケートは、今後、関門地域(下関市・北九州市)において水上交通を組み込んだ ショアエクスカージョンを造成する際の基礎資料と
するために行うものです。

お手数ですが、アンケートにご協力をお願い致します。

1. 今回の水上交通を組み込んだショアエクスカージョン(実証実験)全体の評価について、お聞かせください。(該当する項目に○印)

①良かった、②やや良かった、③ふつう、④やや悪かった、⑤悪かった

1) 1.で良かった(または悪かった)に○印を付けた理由について、ご意見をお聞かせください。

[

]

2. 今回、船からの眺め等、個々の内容について、お聞かせください。併せて、今後、工夫する必要があると思われる事項、改善した方が良く
と思われる事項について、ご意見をお聞かせください

1) 船上からの眺め(該当する項目に○印)

①良い、②やや良い、③ふつう、④やや悪い、⑤悪い

(上記の設問で、今後、工夫する必要があると思われる事項、改善した方が良くと思われる事項について)

[

]

2) 乗船時間(該当する項目に○印)

①長い、②やや長い、③ちょうど良い、④やや短い、⑤短い

(上記の設問で、今後、工夫する必要があると思われる事項、改善した方が良くと思われる事項について)

[

]

3) 運航コース(該当する項目に○印)

①良い、②やや良い、③ふつう、④やや悪い、⑤悪い

(上記の設問で、今後、工夫する必要があると思われる事項、改善した方が良くと思われる事項について)

[

]

4) 船上での説明内容(該当する項目に○印)

①良い、②やや良い、③ふつう、④やや悪い、⑤悪い

(上記の設問で、今後、工夫する必要があると思われる事項、改善した方が良くと思われる事項について)

[

]

水上交通ツアーに関するアンケート調査票(案)※実証実験実施者

3. ショアエクスカージョンを造成する際に重視している点について、お聞かせください。

(該当する事項に○印。複数回答可)

- ①立寄場所(観光地)、②行程(ツアー時間)、③コスト(採算性)、④駐車場、⑤食事処、⑥お土産屋、⑦安全性、⑧特別感(オンリーワン感)、⑨その他()

4. 水上交通を組み込んだショアエクスカージョンの造成について、お聞かせください。

1) 造成する際のポイント(重視する点)について、お聞かせください。

(該当する事項に○印。複数回答可)

- ①船上からの眺め、②乗船時間(行程)、③乗下船場所、④立寄場所(上陸観光地)、⑤「クルーズ船寄港岸壁～乗下船場所」・「乗下船場所～上陸観光地」までの距離(バスの要否)、⑥コスト(バスとの比較)、⑦安全性、⑧その他()

2) 具体的な活用方策等について、ご意見をお聞かせください。

[]

3) 活用にあたっての課題等について、ご意見をお聞かせください。

[]

4) その他、ご意見等がありましたら、ご記入ください。

[]

5. 今回の実証実験でかかった費用について、ご記入ください(項目と費用をご記入ください)。

[]

水上交通ツアーに関するアンケート調査票(案)※クルーズ関係者(ツアー造成者)

このアンケートは、今後、関門地域(下関市・北九州市)において水上交通を組み込んだショアエクスカージョンを造成する際の基礎資料とするために行うものです。

お手数ですが、アンケートにご協力をお願い致します。

1. ショアエクスカージョンを造成する際に重視している点について、お聞かせください。

(該当する事項に○印。複数回答可)

- ①立寄場所(観光地)、②行程(ツアー時間)、③コスト(採算性)、④駐車場、⑤食事処、⑥お土産屋、⑦安全性、⑧特別感(オンリーワン感)、⑨その他()

2. 水上交通を組み込んだショアエクスカージョンの造成について、お聞かせください。

1) 造成する際のポイント(重視する点)について、お聞かせください。

(該当する事項に○印。複数回答可)

- ①船上からの眺め、②乗船時間(行程)、③乗下船場所、④立寄場所(上陸観光地)、⑤「クルーズ船寄港岸壁～乗下船場所」・「乗下船場所～上陸観光地」までの距離(バスの要否)、⑥コスト(バスとの比較)、⑦安全性、⑧その他()

2) 具体的な活用方策等について、ご意見をお聞かせください。

[]

3) 活用にあたっての課題等について、ご意見をお聞かせください。

[]

4) その他、ご意見等がありましたら、ご記入ください。

[]

水上交通ツアーに関するアンケート調査票(案)※クルーズ関係者(ツアー造成者)

3. 関門地区(下関市・北九州市)でのショアエクサカーション造成の実績について、お聞かせください。(該当する項目に○印)

①実績がある ②実績がない

1) 3.で①に○印を付けた方に、お伺いします。

(1) クルーズ船の寄港地について、お聞かせください。(該当する事項に○印。複数回答可)

①下関港(長州出島)、②下関港(長州出島以外)、③北九州港(西海岸)、④北九州港(ひびき)、⑤その他()

(2) 関門地区での寄港地観光あたりの平均的な販売価格について、お聞かせください。

(該当する事項に○印)

a) 食事付きの場合

①2千円未満、②2～4千円、③4～6千円、④6～8千円、⑤8～10千円、⑥10千円以上

b) 食事無しの場合

①2千円未満、②2～4千円、③4～6千円、④6～8千円、⑤8～10千円、⑥10千円以上

(3) (2)の販売価格に占める交通費用(バス代など)の割合について、お聞かせください。

(該当する事項に○印)

a) 食事付きの場合

①20%未満、②20～30%、③30～40%、④40～50%、⑤50～60%、⑥60%以上

b) 食事無しの場合

①20%未満、②20～30%、③30～40%、④40～50%、⑤50～60%、⑥60%以上

2) 3.で②に○印を付けた方に、お伺いします。

今後の関門地区を寄港地観光としての利用の可能性について、お聞かせください。(該当する項目に○印)

①可能性がある ②可能性がない

上記の設問で、可能性がないに○印を付けた理由について、ご意見をお聞かせください。

[]

3) 関門地区(下関市・北九州市)の今後の寄港地観光の造成において、地元を求めるものなどがあれば、ご意見をお聞かせください。

[]

水上交通実現のための方策検討について(案)

水上交通実証実験を通じて得られた内容を踏まえ、今後、クルーズ客の周遊手段としての水上交通の魅力を高め、ツアー商品として定着(定番化)させるために、ツアー客のニーズや意見に加えて、ツアー造成等に携わるクルーズ関係者等の意見を聴取し、水上交通の実現に向けた方策を検討する。

【令和元年度】

実証実験

クルーズ客・乗組員

- ・運航コースの違いによる、観光要素か移動要素かの志向性の確認
- ※特に運航コース「1回目」と「3回目」との比較等
- ・運航コース毎の全体満足度と、関連性項目の把握
- ・今回のツアーに参加して、支払ってもよいと思うツアー料金
- ・ツアー造成のためのポイント
 - ✓ 船上からのビューポイント(魅力)
 - ✓ 乗船時間
 - ✓ 立寄場所
 - ✓ 上陸時間 等
- ・乗り継ぎとなる小型船乗り場周辺に必要な施設

実証実験関係者

※ランドオペレーター、ツアーガイド等

- ・ツアー造成の工夫、アイデア
 - ✓ 運航コース設定
 - ✓ 乗船時間等
- ・船内におけるガイド等の工夫
- ・乗船下船時、誘導時などにおける安全対策
- ・実証実験における各種諸費用の確認
 - ✓ 水上交通用小型船の運航費用
 - ✓ 浮き桟橋等の曳航、設置、借用等費用
 - ✓ バス運行費用 等

ヒアリング(アンケート含む)

クルーズ関係者(ツアー造成者)

※船社ツアー造成者・ランドオペレーター等

- ・ツアー造成の工夫、アイデア
 - ✓ 運航コース設定
 - ✓ 乗船時間等
- ・船内におけるガイド等の工夫
- ・乗船下船時、誘導時などにおける安全対策
- ・ツアー料金について 等

今後の進め方の方針

今後の予定(案)

■ 令和元年9月26日(木) 第4回 クルーズ旅客に対する水上交通を活用した下関港の魅力向上検討会

- ・実証実験の実施内容(案)について
- ・今後の予定(案)について



1. 実証実験

- ・9月29日(日) 第1回目 (コスタ・セレーナ)
- ・10月5日(土) 第2回目 (")
- ・10月25日(金) 第3回目 (コスタ・ベネチア)

2. クルーズ関係者へのヒアリング

- ・秋頃実施(随時)



■ 令和2年2月頃 第5回 クルーズ旅客に対する水上交通を活用した下関港の魅力向上検討会

- ・実証実験の実施結果等の分析結果について
- ・今後の進め方について

参 考 資 料

乗船調査概要



【乗船された方】

- 1) 検討会委員 11名
- 2) 下関市内大学に在籍する留学生 総計35名
 - ・中国(24)、韓国(3)、ベトナム(3)、台湾(2)、他(3)
 - ・性別は、男性11人、女性24人。



【使用した船舶】

- ・総トン数 19トン
- ・乗船定員 12人
- ・最大速力 10ノット
(1ノット=1.852km/h)



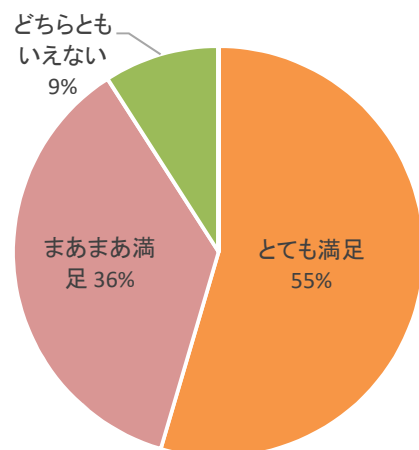
※工事の関係により、唐戸棧橋を起点に乗船調査を実施した。
※途中、休憩として竹崎棧橋で下船し、六連島渡船待合所等にて休憩を挟む。

乗船、アンケート結果(Aルート:唐戸～閨門～長州出島)

検討会委員、留学生とも8割以上の満足度が得られた。

(検討会委員)

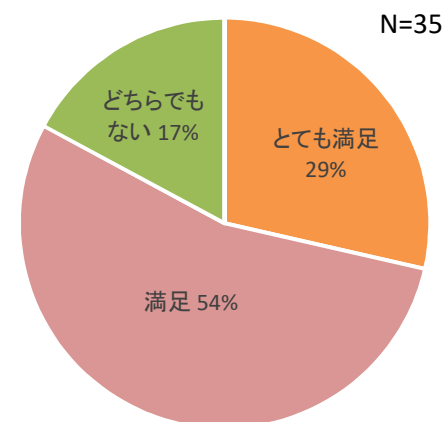
満足度



項目	調査結果
風景・景観	造船所や閨門は非日常的でとても良い。
乗船時間	ルートに観光資源が多くあり、時間的にも丁度よい
満足度	彦島大橋から下関漁港までは、曲がりくねったルートが新鮮、歴史的な視点もあり満足。

(留学生)

満足度

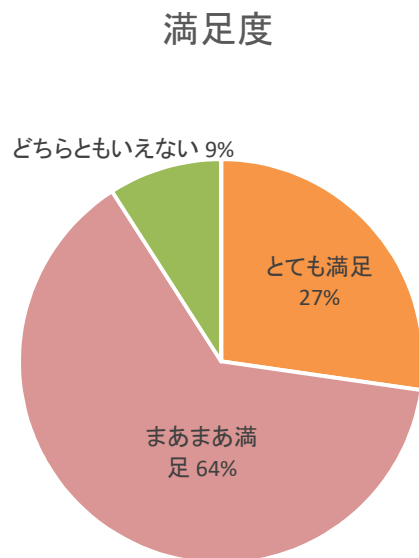


項目	調査結果
風景・景観	山や海がきれい、青と緑のコントラストがきれい。街の景色がとても良かった 閨門を通過するのは面白い
乗船時間	短いコースなので丁度よい。 あっという間に過ぎた。 1時間以内に納めているので丁度よい。
満足度	風景が良い 下関漁港閨門を見れた。 見所で説明があり、良い勉強にもなった。 とても新鮮だった。

乗船、アンケート結果（Bルート：長州出島～関門海峡～唐戸）

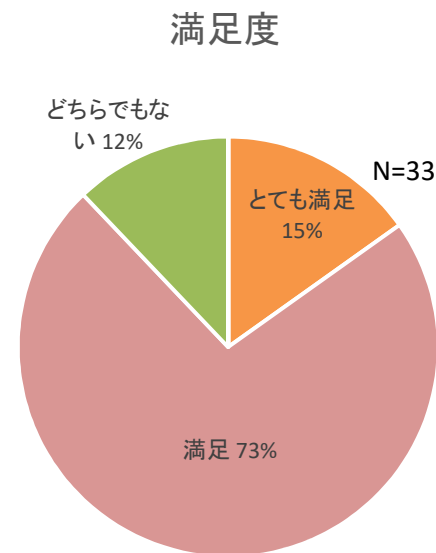
検討会委員、留学生とも9割程度の満足度が得られた。

（検討会委員）



項目	調査結果
風景・景観	北九州の工場群は良かった。もっと近くで見れるとなお良い。 海が好きな人にとっては良い 関門海峡に入ると楽しめる
乗船時間	景色の変化があったため違和感なし 1時間程度が適切な時間と思う
満足度	（特に意見なし）

（留学生）



項目	良かった点
風景・景観	下関と北九州を同時に見ることが出来て良かった。
乗船時間	ゆっくり時間をかけて景色を見ることが出来て丁度よい。
満足度	風景だけでなく、いろいろな工場が見られた。 大きな船、広い海を見ることが出来た。 ゆっくりと時間をかけて風景を見れた。 説明があり、勉強にもなった。

アンケート結果(クルーズ客、クルー)

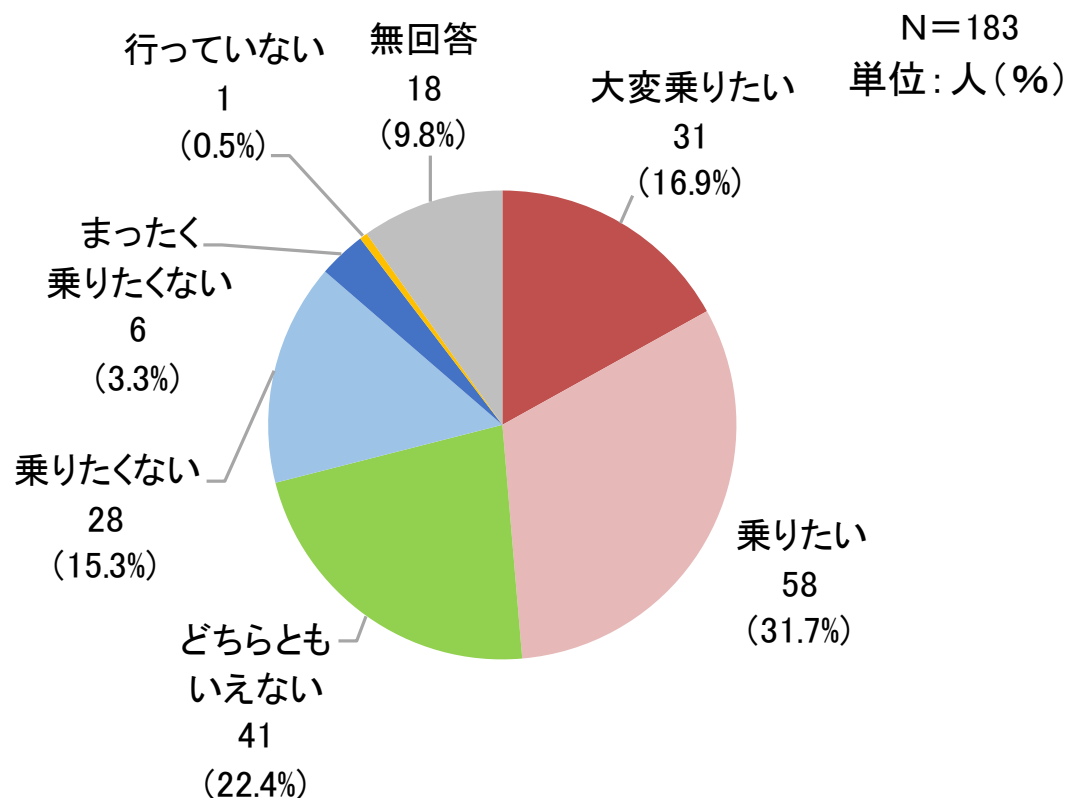
【調査日 平成30年11月11日(日)】

コスタ・セレーナ 114,500トン 乗客定員3,780人 乗組員 1,100人 当日の乗船数 旅客2,476人 乗組員976人 大型バス 60台(旅客58、クルー2)

アンケート調査は、関門地域の観光を終えて長州出島に戻ってきた乗客を対象に行った。

アンケート実施数 183人(クルーズ客172人、クルー11人) 出身:中国176人、フィリピン2人、インド1人など 年齢60代以上37人、50代以上17人など

〔観光地への水上交通の利用ニーズ〕



アンケート調査の様子

